

令和5年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	益田市・まち・ひと・しごと創生推進事業 （観光誘客支援事業） 石見神楽を活用した観光振興及び次世代育成プロジェクト
取組内容	【目的】 石見神楽を活用したまちづくりを推進するため、既存の枠組みに囚われず、益田独自の「益田神楽」ブランドの創出と石見神楽を活用した観光振興及び次世代育成プログラムを実施すると共に、これらの取組をパッケージとして、継続的に取組む事業体の構築を目指す。 【事業期間】 令和3年度から令和5年度の各年度で事業の実施を行う。 〔令和5年度取組内容〕 ○石見神楽による観光・産業振興策の実施 （１）市外・県外公演実施に向けた体制の整備 公演受注後の「運営管理システム」を構築し、10月、12月の公演にて実証・改良 ・10/21 高槻公演 来場者数：679名 ・12/7～12/11 京都公演 来場者数：約3,000名 ・「運営管理システム」完成 （２）神楽社中体験・公演バックヤードツアーが継続的に実施できるような販路検討及びPR ・県外公演において益田の石見神楽のPR ・益田の石見神楽PRリーフレット作成 （３）石見の夜神楽の魅力化に向けた提案・実施 ・石見神楽公演事業実行委員会との協議 ・令和6年度の実施体制の整備 （４）石見神楽をモチーフとしたグッズ開発・実証販売 ・大蛇タオル ・新作ステッカー （５）グッズ販売体制の整備 ・在庫管理システムの構築 ・物販ディスプレイの検討・構築・実証



高槻公演の様子



高槻公演でのPR



京都公演でのPR



益田の石見神楽PRリーフレット



大蛇タオル



実証販売の様子

- 石見神楽を活用した次世代育成プログラムの実施
 (1) 末就学児を対象とした石見神楽の普及啓発活動の実施
 ・「第3回MASUDA石見神楽WEEK」における塗り絵展示会実施



塗り絵展示会



子ども神楽パーク（5月21日）

- (2) 小さな子ども向けの石見神楽公演の実施、継続的な実施体制の整備

- ・2/25「親子ツナガル体験の庭」
午前）紙芝居、トントン神楽遊び
午後）子ども向け公演（大蛇）
- ・事業内容をパッケージ化し、カタログ掲載



大蛇体験・撮影会

- (3) 学校教育プログラムの実施、継続的な実施体制の整備

- ・9月 益田小学校4年生を対象に実施
- ・学校プログラムを含めたカタログの完成

- (4) 各種プログラムの継続的实施のためボランティア制度等の整備

- ・公式LINEの運用による周知
- ・12月京都公演における社会人ボランティア参加（1名）

- (5) 石見神楽に関する機運醸成イベントの実施

- ・5/14～5/21
MASUDA石見神楽WEEKを実施



神楽ウォーク



教育プログラムのカタログ該当ページ

- (6) 石見神楽の担い手になるためのガイドブックの作成

- ・担い手ガイドブックのブラッシュアップ、配布開始



担い手ガイドブック（舞い手、奏楽、ボランティア、観客として、石見神楽による益田市の関係人口の拡大を目的とした内容）

成果

○観光入込客数

【令和4年度】目標：960,000人	実績：621,436人
【令和5年度】目標：990,000人	実績：832,187人
【令和6年度】目標：1,020,000人	実績：

今後の事業展開

令和5年度に6年度以降の独自運営を目標とし、一般社団法人を設立。MASUDA石見神楽WEEKの実施や子ども向け次世代育成プログラムなど、必要な事業に対し、地域振興基金等による支援を行う。

令和5年度企業版ふるさと納税活用事業実績

事業名	サイクルスポーツ振興事業
取組内容	自転車に親しむ「環境」づくり ○ロードバイク等の購入 計 32台 (購入した自転車等の詳細) ロード4台、クロス4台、マウンテン4台、ジュニア12台、キック8台 ほかヘルメット、サポーター、手袋、サイクルスタンド 10台 ※購入した車体及びヘルメットにサン電子工業(株)のステッカーを張り付けた。  サン電子工業 株式会社  ○購入した自転車等を活用した、自転車活用及び自転車競技のすそ野拡大を目的としたイベントほか ・史跡中須東原遺跡賑わい創出事業 主催：益田市教育委員会 日時：令和5年12月27日(水) 10時～12時 会場：史跡中須東原遺跡内 概要：史跡に触れるイベント「凧揚げ」「道路にお絵かき」 購入した自転車を活用した試乗イベント 購入した自転車お披露目会 出席者 サン電子工業(株) 益田工場 総務部長 堀厚志氏 ★事業実績 (参加者数) 82名  

取組内容

- MASUDA CHARI FESを活用した自転車競技のすそ野拡大事業（著名人招聘ほか）

主催：MASUDA CHARI FES実行委員会

日時：令和6年3月24日（日）10時～15時

会場：島根県立万葉公園太陽の広場ほか

概要：ゲストトークショー、高津川かわまちライド（※1）、試乗・体験、益田チャリキッズ育成プロジェクト（※2）ほか
自転車系YouTuberによるレポート作成とSNSでの配信（3本）

（※1）高津川かわまちライド

益田市高津川かわまち計画に記載されている、今後新たにつくるサイクリングコースを参加者（事前申し込み制）で試走した。

★事業実績 （参加者数）27名



（※2）益田チャリキッズ育成プロジェクト

益田市が2030年に開催される島根かみあり国スポ自転車競技（ロードレース）の会場地となっていることから、自転車競技に対する興味・関心の喚起、及び、大会で活躍する益田市出身の選手を発掘することを目的に実施した。

- 自転車ジムカーナ

自転車に乗る上で重要となる「走る」「曲がる」「止まる」など、基本的な動きの組み合わせでタイムを競うもの。

- スタンディングスタイル

自転車に乗ったままその場にとどまり続けることができるかを競うもの。

★事業実績 （参加者数）各20名



取組内容	【アンケート結果（抜粋）】 ＜年齢を教えてください＞ 1～6歳（79%） 7～12歳（7%） 13～18歳（7%） 19歳～（7%） ＜自転車競技に興味がありますか＞ ① 自転車競技に興味がある（29%）② イベントは参加したいが競技には興味ない（50%）③ イベントに参加し、自転車競技に興味がわいた（21%） ＜6年後の「国民スポーツ大会」で益田市が自転車競技の会場になることを知っていますか＞ ① 知っている（43%）② 知らなかった（57%） ＜今後、自転車競技のイベントや練習会等を開催する際に、直接ご案内させていただいてもいいですか＞ ① OK（21%）② NG（58%） ・イベント時における動画作成ほか ○自転車の利用促進に向けた広報活動（ホームページ作成） ホームページ：自転車のまち 益田（https://masudacycle.jp/） ○自転車の維持管理（自転車専用の倉庫を整備） 推進体制の整備や指導を行う人材の配置及び指導 自転車競技力向上アドバイザー 小森亮平氏（プロ自転車選手、立命館大自転車競技部コーチ） 指導回数 2回／参加者 中学生4名 （※）立命館大学自転車競技部の合宿誘致 参加者 15名 （MASUDA CHARI FESにも参加し、益田の子どもたちと交流）
成果	・サイクルイベント等開催回数 目標値 9回／実績値 2回 ・サイクルイベント等の参加人数 目標値 230名／実績値 580名 うち、中高生のサイクルイベント等の参加人数 目標値 50名／実績値 30名 ※サイクリングチーム発足（令和6年7月より） チーム名：ボアソルテサイクリングチーム メンバー：上記中学生4名を含む、計6名（10代 5名、20代 1名）
今後の事業展開	以下の取り組みを通し、2030年に開催予定の島根かみあり国スポを目指す競技者育成を行う。 ○競技者の発掘 手法：既存の集客イベントへの参加 予定：Mランド祭り（6/9）／益田・NA・KAライド（9月）／空港マラソン（10/20）／益田産業祭（11月） ○自転車競技力向上の取り組み 競技者の発掘と並行し、自転車競技力向上に向けた取り組みを進めたい。 具体的には（一社）スポーツ協会自転車競技力向上アドバイザーの小森亮平氏によるトレーニングと島根県自転車競技連盟による「島根ジュニア自転車クラブ」によるトレーニングを柱とし、定期的なトレーニング日程を構築し、参加者を広く募集したい。